

事業群評価調書(令和6年度実施)

基本戦略名	1-1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る	事業群主管所属・課(室)長名	産業労働部 未来人材課	未續 友基
施策名	1 将来を担う若者の就業支援と魅力的な職場づくりの促進	事業群関係課(室)		
事業群名	① 県民の県内就職への意識醸成	令和5年度事業費(千円)	※下記「2. 令和5年度取組実績」の事業費(R5実績)の合計額	37,086

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)								
一般県民、生徒・学生、保護者、企業など、県民全体の県内就職促進への意識醸成を図られるよう、合同企業面談会や学生と企業の交流会、高校での講演などを集中的に実施します。		i) 県民の県内就職への意識醸成を図るため、県内就職促進キャンペーンを実施								
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)	
	コンセプトサイトの閲覧数の伸率	目標値①	/	210%	220%	230%	240%	250%		250% (R7)
		実績値②	100% (R元)	375%	210%	198%	/	/		進捗状況
達成率②/①		/	178%	95%	86%	/	/	やや遅れ		
									コンセプトサイト「ナガサキエール」において、若者の県内就職を促進するための情報を発信し学生等への周知に努め、閲覧数は着実に伸びたものの目標値の達成には至らなかった。認知度を上げるためには、生徒や学生に加え、保護者等を含めた県民全体の意識醸成が必要であることから、新たに保護者向け企業見学会を実施するとともに、Nなび上に「保護者向け長崎就活応援ナビ」を開設するなど、情報発信を強化した。併せて、Nなび・ジョブなび等の総合エントランスページを作成し、ユーザーの利便性向上を図り、SNSによりクロスメディアで情報を発信するなど、さらなる強化に努めていく。	

2. 令和5年度取組実績(令和6年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和5年度事業の成果等			
				R4実績	うち一般財源	人件費(参考)		R4目標	R4実績	達成率				
				R5実績								R5目標	R5実績	
事業実施の根拠法令等				事業実施の根拠法令等			主な指標	R6目標						
事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)	事業対象										
取組項目1	○	1	学生と企業の交流強化事業費	20,451	10,192	14,158	●事業内容 企業説明会や学生団体との連携を通して、学生と企業の交流機会の創出・充実を実施。 ●実施状況 学生のニーズに沿った交流機会の創出・充実を図るため、オンライン企業説明会や、学生団体と連携した対面型就活イベント開催に加え、キャリアコーディネーターによる相談支援、大学と連携した企業交流会などに取り組んだ。 県内大学生、県内企業ほか	【活動指標】	34	57	167%	●事業の成果 ・学生団体と連携し、学生目線で企画した対面型の交流会を実施することで気軽に参加できる雰囲気をつくり、参加者の増につなげることができ、県内企業の魅力理解に繋がった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・企業と交流した学生が増えることで、県内就職意識の醸成やコンセプトサイトの認知度向上にも繋がり、閲覧数も昨年度と同水準を維持できている。		
				16,257	8,623	14,169		【活動指標】	34	69	202%			
				31,617	15,929	14,394		【活動指標】	34	/	/			
			R元-6			—		—	—	【成果指標】	2,410		3,227	133%
			未来人材課			—		—	—	【成果指標】	2,410		3,043	126%
	R元-6			—	—	—	【成果指標】	2,410	/	/				
	1	2	高校生の県内就職促進事業費	24,006	14,388	6,888	●事業内容 企業見学会やインターンシップ等を通して、高校生や保護者が県内企業を知る機会を創出。 ●実施状況 県内高校が主体となって実施する企業見学会等やインターンシップへの支援を行い、高校生が県内企業を知る機会を創出するとともに、保護者向けに県内就職の魅力や県の支援施策を伝えることで、県内就職に対する意識を醸成した。 また、工業科高校を対象とした広域の合同企業説明会を開催し、県内の製造業・建設業等の企業を広く知る機会を創出したほか、新たに保護者に向けた企業見学会も実施した。 県内高校3年生の県内就職希望率(%)	【活動指標】	3,200	2,970	92%	●事業の成果 ・高校2年生を対象に企業見学会を開催した。さらに就職者が多い工業科高校を対象に広域合同企業説明会を開催し、高校生が幅広く県内企業を知る機会を創出した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・事業の実施により、高校生の県内就職率の目標達成に寄与した。		
				20,829	13,382	10,569		【活動指標】	3,200	3,158	98%			
				32,575	19,828	10,738		【活動指標】	3,200	/	/			
			R元-6			—		—	—	【成果指標】	数値目標なし		54.3%	—
未来人材課			—	—	—	【成果指標】		56.4%	54.3%	96%				
R元-6			—	—	—	【成果指標】	56.9%	/	/					

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i 県民の県内就職への意識醸成を図るため、県内就職促進キャンペーンを実施	
<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>若者の県内就職を促進するためには、生徒や学生に加え、保護者等を含めた県民全体の意識醸成が必要であることから、保護者層への情報発信の強化に取り組むとともに、総合エントランスページを作成するなど、ユーザーの利便性向上を図る必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>本県の暮らしやすさや県内企業の魅力発信を継続的に実施することは、県内就職促進の意識醸成のために重要な取組であることから、今後も情報発信の手法などについて見直しを行いながら実施していく。</p>

4. 令和6年度見直し内容及び令和7年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和6年度事業の実施にあたり見直した内容		令和7年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名 事業期間 所管課(室)名	※令和6年度の新たな取組は「R6新規」等と、見直しが無い場合は「―」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i	○	1	学生と企業の交流強化事業費	コンセプトサイト「ナガサキエール」において、仕事やプライベートも含めて「長崎で働き、暮らすことを選択する」という意識醸成をさらに図っていくために、SNS対策の強化やナガサキエールのコンテンツの魅力向上など、必要な見直しを行っていく。	②	保護者層を含めた県民全体の意識醸成を図っていくとともに、各コンテンツのターゲットに合わせた情報発信手法の改善に取り組んでいく。	改善
			R元-6				
	未来人材課						
	2	高校生の県内就職促進事業費	高校生や保護者に対して県内企業の魅力を伝えることは引き続き重要であり、企業見学や企業説明会など企業を直接知ることができる機会の確保を中心に取組を強化する。 特に県内就職に対する保護者の理解が非常に重要であり、保護者向け企業見学会を拡充する。	②	本事業は令和6年度で終期が到来するが、高校生やその保護者に直接働きかける本事業は、事業群指標の目標達成のためには最も重要であることから、保護者向け取組の拡充内容の実績を検証したうえで、引き続き実施していく。	改善	
R元-6							
未来人材課							

注:「2. 令和5年度取組実績」に記載している事業のうち、令和5年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しできているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができていないか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点